

130th
ANNIVERSARY
人にやさしい未来をつくる

人に想いを伝える、人の想いに応える モノづくり企業

AuBEX GROUP

2023年3月期

決算補足説明資料



証券コード：3583

オーベクス株式会社

当社グループの事業

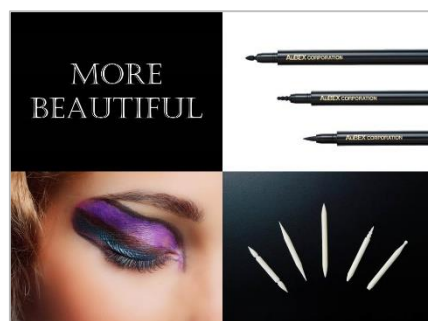
当社グループは、2つのセグメントで事業活動を行っています。

テクノ製品事業

サインペン先、マーキング用ペン先などの筆記具関連、アイライナー用ペン先、ネイルケア用ペン先などのコスメチック関連を主力製品として、その他スタイラス用ペン先などのPC周辺関連をはじめ、芳香剤用芯などを取り扱っております。



ステーショナリー



コスメチック



スタイラスペン



医療機器

メディカル製品事業

自社開発の流量制御チューブを採用した薬液注入器(ベセルフューザー)や安全性と利便性を追求した親水性ガイドワイヤーを主力製品として、その他に医療用部材を取り扱っております。

連結業績			前期比	
	売上高	5,315百万円	3.1%減	
	営業利益	623百万円	11.8%減	
	経常利益	639百万円	12.1%減	
	当期純利益	469百万円	12.5%減	

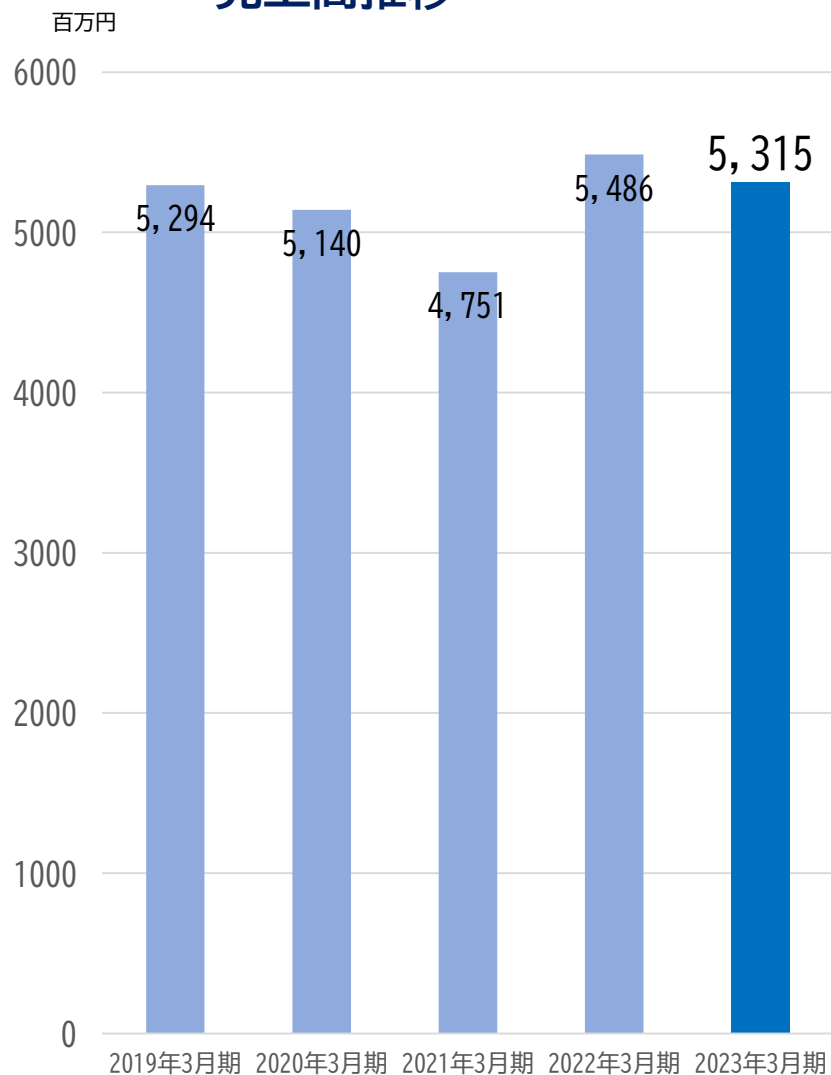
- ・売上高は、メディカル製品事業は前年を上回ったものの、テクノ製品事業の国内及び欧州地域の売上が下振れし、3.1%減の5,315百万円。
- ・営業利益は、原材料費や物流コストなどの増加により、11.8%減の623百万円。
- ・経常利益は、営業利益の減少により、12.1%減の639百万円。
- ・営業利益率は、前期比で1.2ポイント減少し、11.7%。

2023年3月期 業績（連結）および2024年3月期 業績予想（連結）

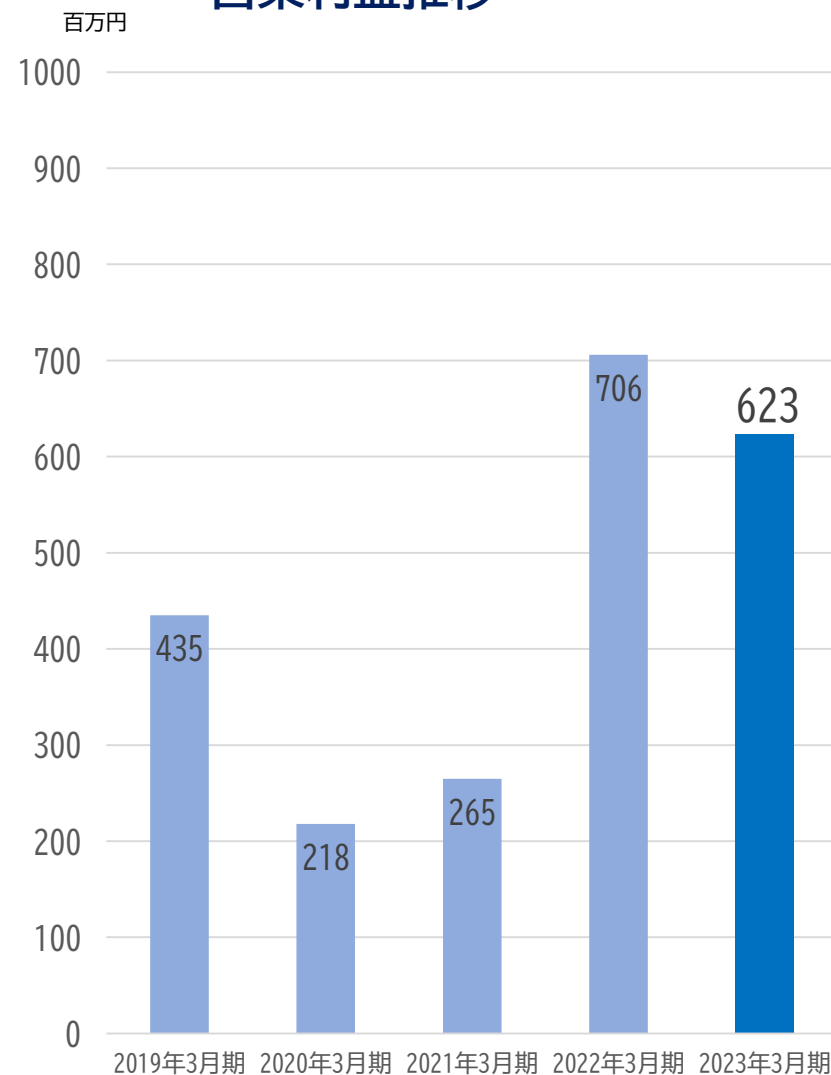
（百万円）	前期 2022年3月期	2023年3月期 業績予想	当期 2023年3月期	前期比	通期予想に 対する 達成率	2024年3月期 業績予想
売上高	5,486	5,500	5,315	96.9%	96.6%	5,400
営業利益	706	650	623	88.2%	95.8%	550
営業利益率	12.9%	11.8%	11.7%	—	—	10.2%
経常利益	727	630	639	87.9%	101.4%	530
親会社株主に帰属する 当期純利益	536	520	469	87.5%	90.1%	390

売上高・営業利益推移（連結）

売上高推移



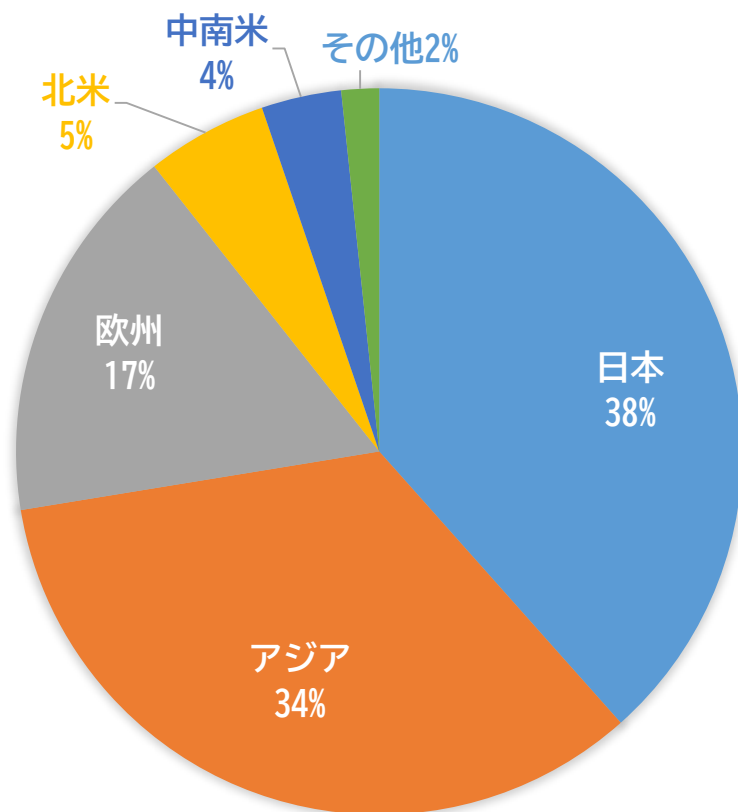
営業利益推移



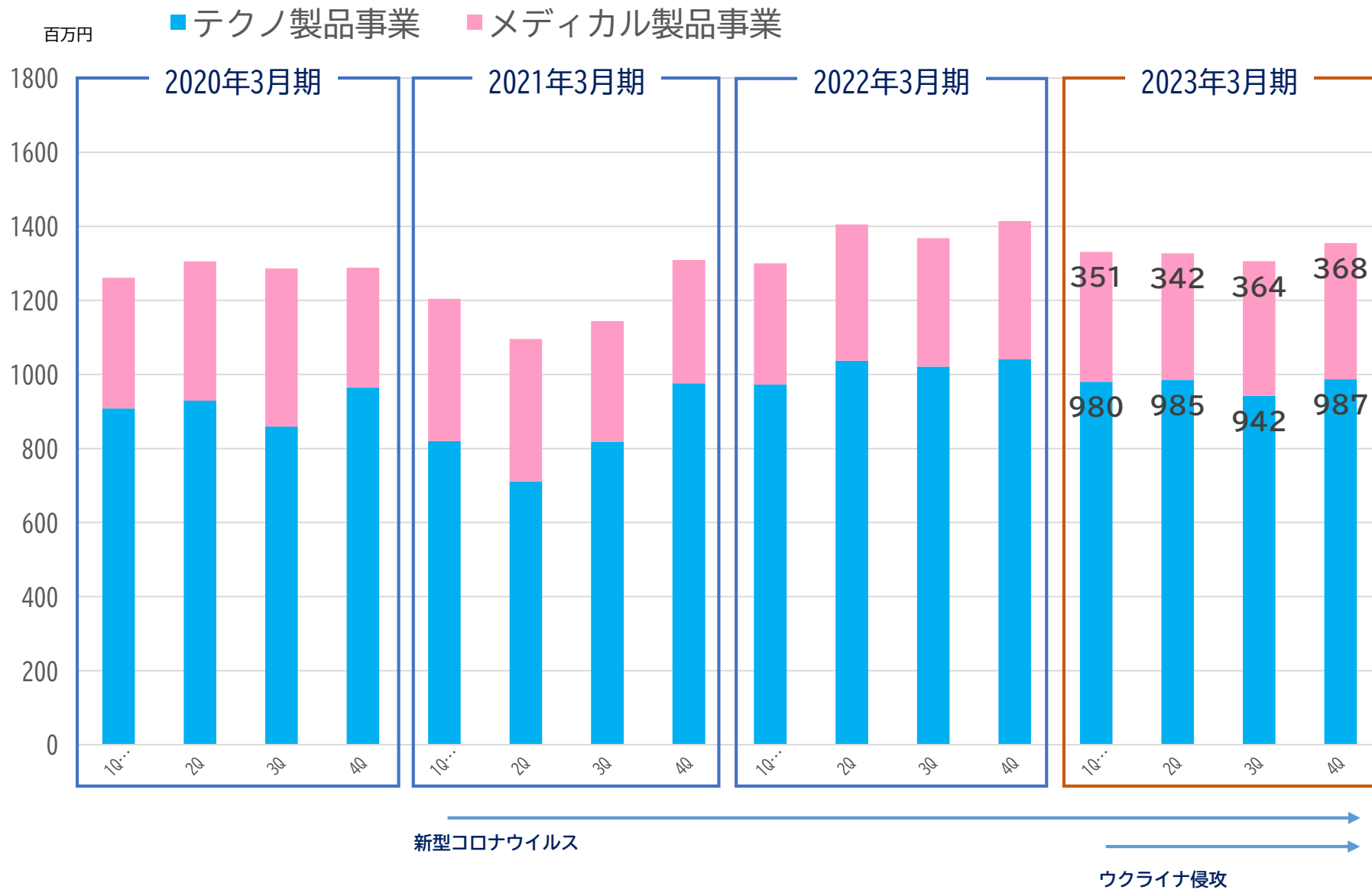
エリア別売上高（連結）

地域区分	前期 2022年3月期 (百万円)	当期 2023年3月期 (百万円)	前期比
日 本	2,181	2,041	93.6%
アジア	1,682	1,806	107.3%
欧 州	1,094	900	82.3%
北 米	299	287	96.1%
中南米	109	189	173.3%
その他	118	89	75.4%

エリア別売上高比率 2023年3月期



四半期売上高推移（セグメント）



セグメント別業績

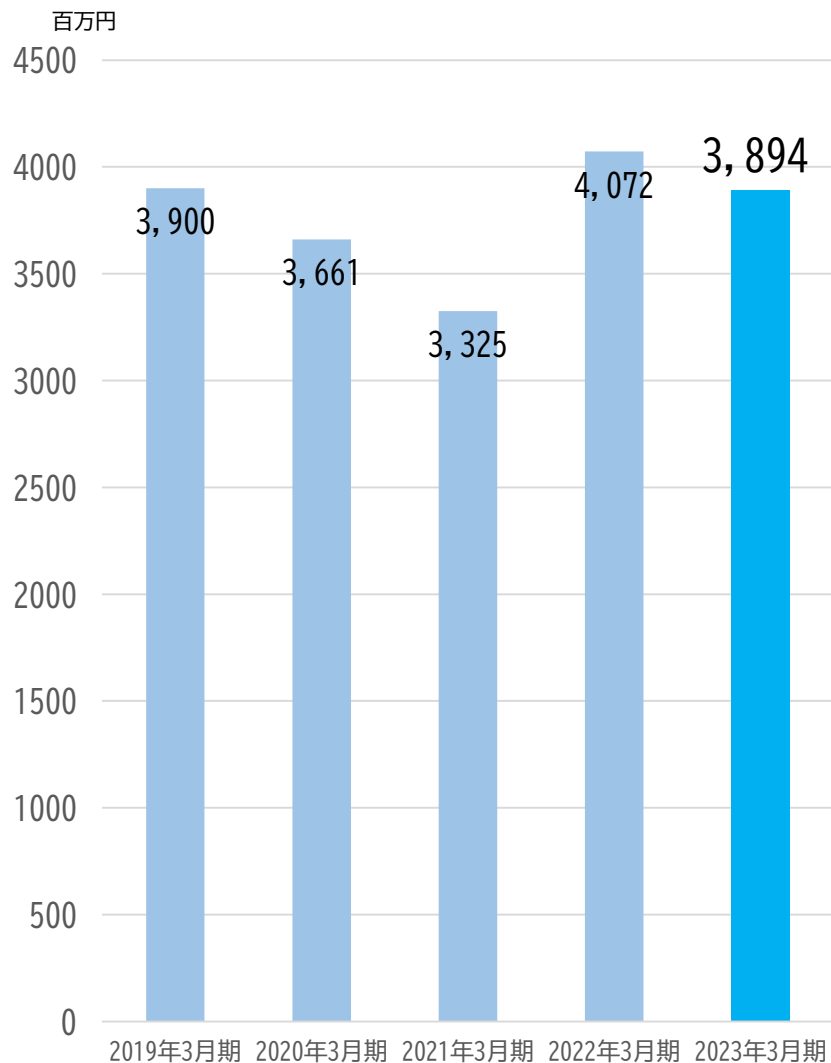
テクノ 製品事業

		前期比	
売上高	3,894百万円	4.4%減	↓
セグメント 利益	831百万円	6.2%減	↓
セグメント 利益率	21.4%	0.4ポイント減	↓

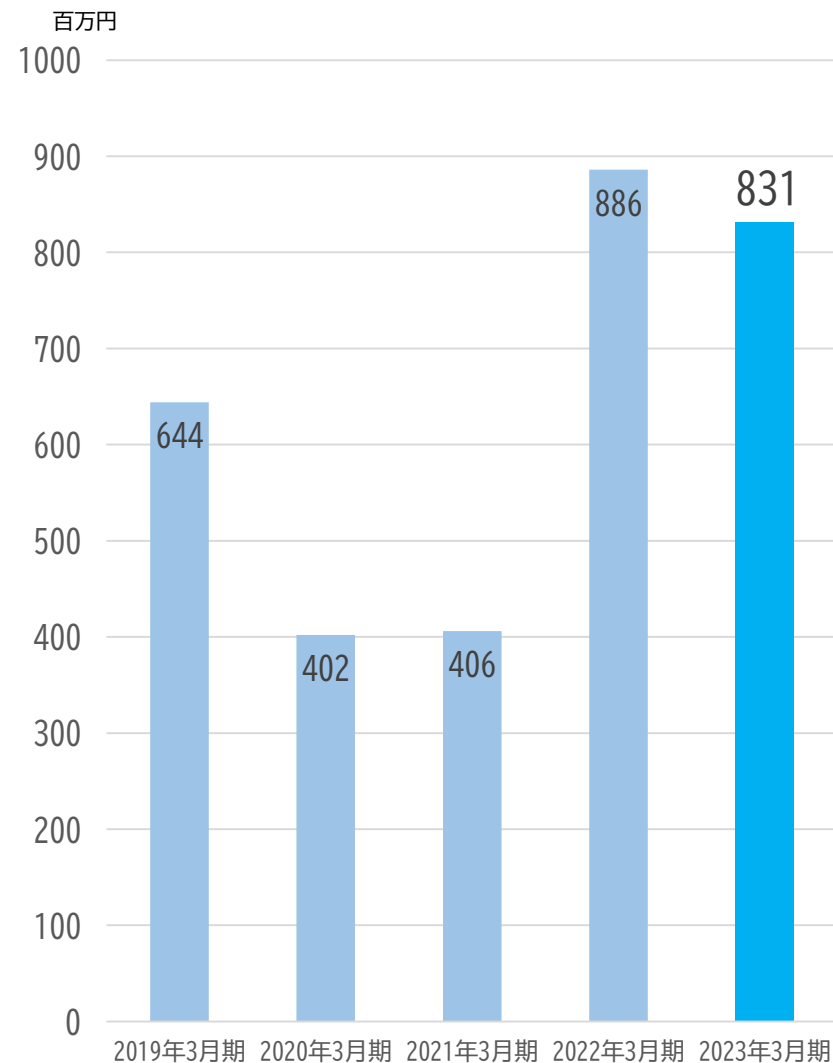
- ・売上高は、アジア及び中南米地域が堅調に推移したものの、国内及び欧州地域が伸び悩み、前期比4.4%減の3,894百万円。
- ・セグメント利益は、高付加価値製品が堅調に推移したものの、売上減少に伴い、前期比5.6%減の836百万円。

テクノ製品事業 四半期別売上高・セグメント利益推移

売上高推移



セグメント利益推移

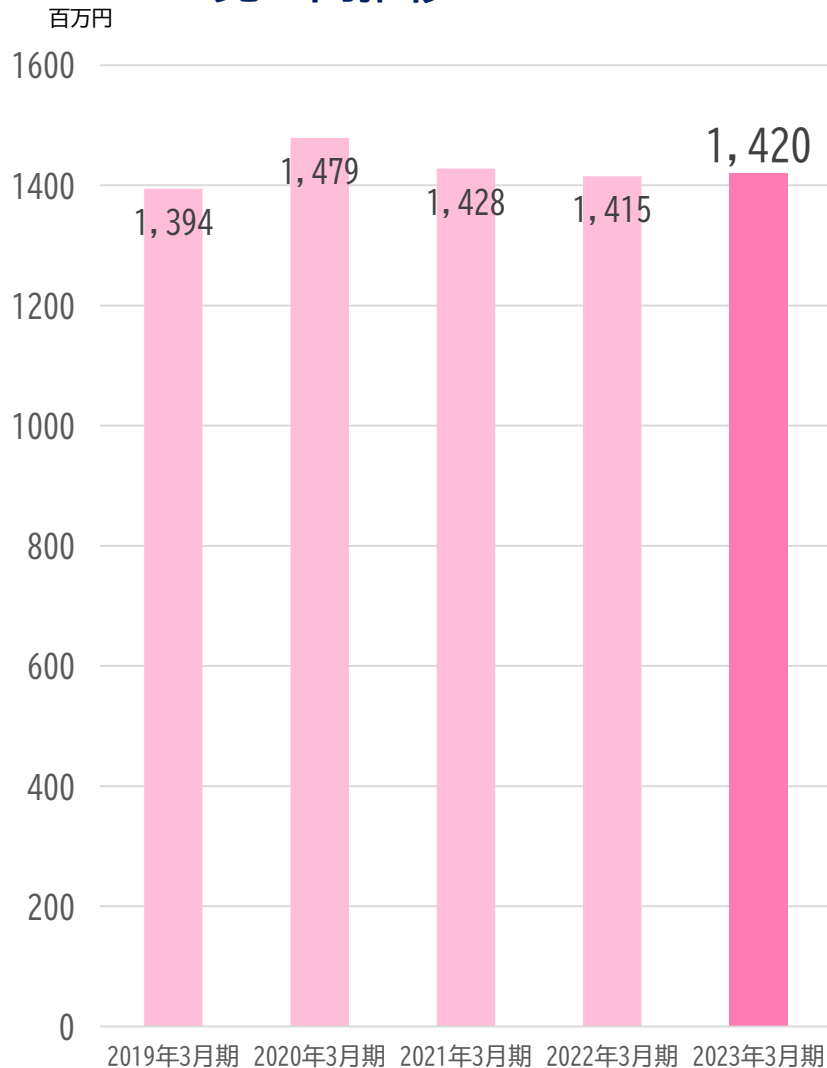


セグメント別業績

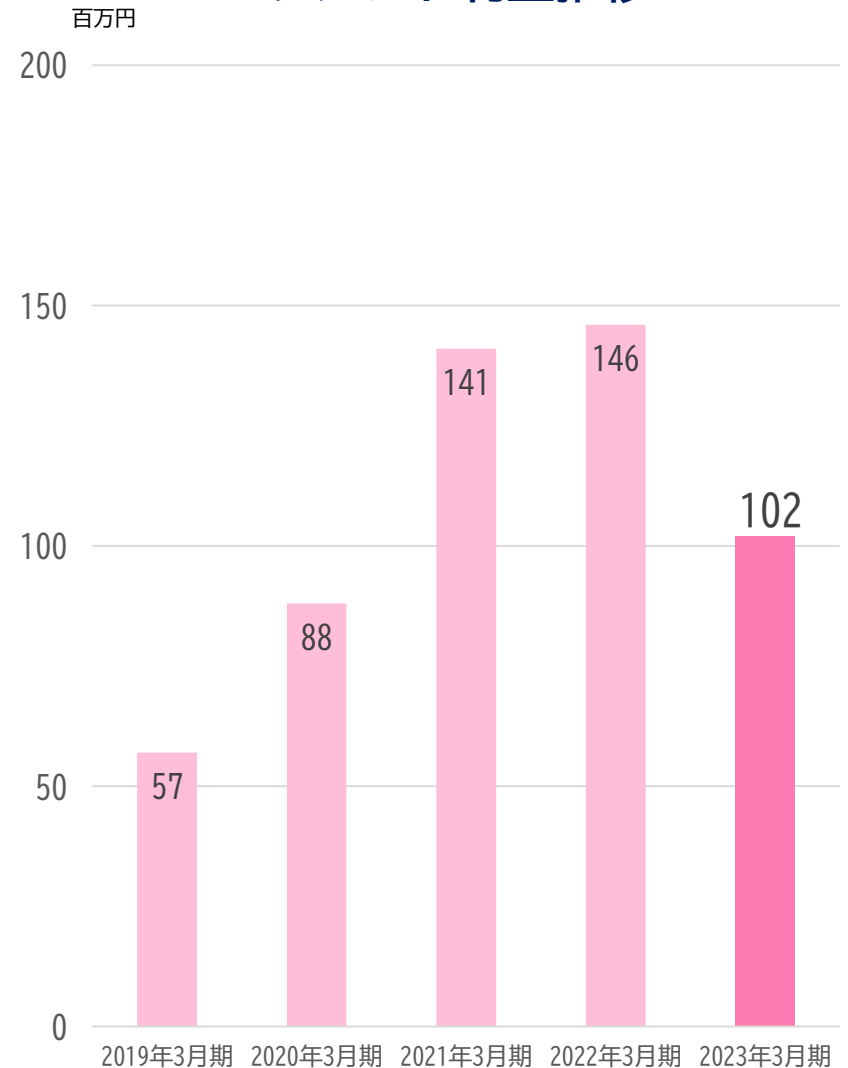
		前期比	
医療 製品事業	売上高	1,420百万円	0.7%増 
	セグメント 利益	102百万円	30.4%減 
	セグメント 利益率	7.2%	3.2ポイント減 

- ・売上高は、コロナ禍の影響が継続する中、ベセルフューザー及びガイドワイヤーの売上が堅調に推移した結果、前期比0.7%増の1,420百万円。
- ・セグメント利益は償還価格の改定や部材コスト高騰などの影響を受け、前期比 30.4%減の102百万円。

売上高推移



セグメント利益推移



参考情報

連結損益計算書

(百万円)	前期 2022年3月期	当期 2023年3月期	前期比
売上高	5,486	5,315	96.9%
売上原価	3,522	3,435	97.5%
売上総利益	1,963	1,880	95.8%
販売費及び一般管理費	1,256	1,256	100.0%
営業利益	706	623	88.2%
(営業利益率)	12.9%	11.7%	—
経常利益	727	639	87.9%
税金等調整前当期純利益	725	680	93.8%
法人税等合計	189	211	111.8%
当期純利益	536	469	87.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	536	469	87.5%

連結貸借対照表

	(百万円)	前期末 2022年3月末	当期末 2023年3月末	増減額
流動資産		5,854	5,925	+71
固定資産		3,586	3,402	△184
資産合計		9,441	9,328	△113
流動負債		2,314	1,383	△931
固定負債		1,710	2,111	+401
負債合計		4,024	3,494	△530
純資産		5,416	5,833	+417
負債・純資産合計		9,441	9,328	△113

真心をこめて、暮らしに欠かせない文化と科学を提案することにより、
豊かな社会づくりに貢献できる企業を目指します。

人と社会に正しい貢献を。

いつの時代も、可能性をあきらめず、まっすぐに。

「より役立つもの、より優れたもの」を。

モノづくりを通じて拡がる未来へ。

オーバクスビジョン2024

基本方針

新市場（スタンダード市場）において
持続的成長と企業価値向上を具現化する

スローガン

「 Change + Update “チェンジ プラス アップデート” 」

最終年度 定量目標（連結）

3ヶ年合計

売上高

62億円

営業利益

8.3億円

設備投資

10億円

サステナビリティへの取組

当社の創業者である渋沢栄一翁の経営哲学「道德経済合一説」（仁義道德と生産殖利とは元来ともに進むべきもの）は、持続可能な社会を目指すものであります。その精神を受継ぐ当社は、「真心をこめて、暮らしに欠かせない文化と科学を提案することにより、豊かな社会づくりに貢献できる企業を目指します。」を経営理念に掲げ、「オーバクスグループ行動規範」を定めるとともにリスクマネジメント方針をはじめとする各方針を策定しております。環境問題、社会的課題への対応を経営課題の重要事項のひとつと位置付け、ESG経営を推進することで持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

環境 Environment

大気汚染対策 廃棄物対策
環境に配慮した製品開発



社会 Social

働き甲斐のある職場環境 人財育成
人権の尊重 地域社会への貢献



ガバナンス Governance

コンプライアンス（法令と社会規範の遵守）
積極的な情報開示 リスク管理



配当方針

利益配分に関しましては、株主の皆様への利益還元を最重要課題の一つと考えており、将来に向けた研究・開発、設備投資等を行うための内部留保の充実を図りつつ、中長期的視野に立って収益に対応した安定配当を行うことを基本方針としております。

配当実績・予想

		137期 2022年3月期	138期 2023年3月期	139期（予想） 2024年3月期
1株当たり 当期純利益 (連結)	円	194.04	169.17	140.61
1株当たり 配当額	円	25 記念配当 10円含む	20	20

商号	オーベクス株式会社
本店	東京都墨田区両国4-31-11
創立	1892年（明治25年）12月12日
資本金	19億3,983万円
代表者	代表取締役社長 栗原 則義
事業所	コアセンター（千葉工場） 千葉県白井市河原子265 千葉ニューテックセンター 千葉県印西市鹿黒南1-7
連結子会社	オーベクステクノロジー株式会社 オーベクスメディカル株式会社 天津奥貝庫斯技研有限公司

本資料のお取り扱い上の注意

本資料に記載された見解や見通し、ならびに予測等は資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。

様々な要因により、今後の業績は本資料の内容と異なるものとなる可能性があります。また、本資料は当社をご理解いただくために作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。